



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 デジタルアーツ株式会社

コード番号 2326 URL <http://www.dai.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 道具 登志夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長

(氏名) 赤澤 栄信

TEL 03-5220-1160

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-----|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 803 | 19.4 | 81 | 127.1 | 85 | 139.5 | 57 | 259.2 |
| 27年3月期第1四半期 | 673 | 3.5 | 35 | 108.3 | 35 | 79.2 | 16 | 33.9 |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 65百万円 (305.6%) 27年3月期第1四半期 16百万円 (34.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 4.14 | 4.13 |
| 27年3月期第1四半期 | 1.15 | 1.15 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 5,533 | 4,238 | 75.2 | 299.39 |
| 27年3月期 | 5,749 | 4,297 | 73.3 | 303.40 |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 4,159百万円 27年3月期 4,213百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 5.00 | — | 9.00 | 14.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 7.00 | — | 7.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 創立20周年記念配当 4円00銭

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 1,794 | 11.5 | 300 | △11.2 | 301 | △16.2 | 181 | △13.9 | 13.09 |
| 通期 | 3,800 | 11.7 | 910 | 5.2 | 910 | 0.0 | 548 | 3.2 | 39.48 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年3月期1Q | 14,133,000 株 | 27年3月期 | 14,133,000 株 |
| 28年3月期1Q | 240,500 株 | 27年3月期 | 245,600 株 |
| 28年3月期1Q | 13,890,986 株 | 27年3月期1Q | 13,880,800 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、世界経済・競合状況・為替・金利の変動等もかかわるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、政府の積極的な経済・金融政策により企業収益の改善や個人消費の持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな回復基調の中で推移いたしました。

当社グループが属するセキュリティ業界におきましては、特定の企業や国家機関等を狙った標的型攻撃、組織内部関係者による個人情報の漏洩など、企業・組織が直面するリスクが巧妙化・高度化・複雑化しており、従来、企業・組織が重点をおいてきた「外部からの攻撃」に対するセキュリティ対策のみでは不十分であるとの認識が広がり、「内部からの情報漏洩」に対するセキュリティ対策に関心が集まりました。

このような状況の中、当社グループが創業当初より注力してまいりました企業・組織内における情報セキュリティソリューションがより一層注目され、主力製品である「i-FILTER」「m-FILTER」、戦略製品である「FinalCode」に対するニーズが高まっております。

Webセキュリティソフト「i-FILTER」については、フィルタリング機能のみならず、万が一マルウェアに感染した場合でも、その通信先をブロックすることにより情報漏洩を防ぐ出口対策としての有効性が再認識され、売上が伸張いたしました。また、「i-FILTER」のモバイル端末版である「i-FILTER ブラウザー&クラウド」についても、「i-FILTER」と同様に出口対策として有効であることや管理者があらかじめ端末内にWebアクセスデータを残さないように設定しておくことで情報漏洩対策としても有効であることから導入が進みました。

メールセキュリティソフト「m-FILTER」については、「ルール」の柔軟な設定、社外宛メールの送信保留機能や特に重要なメールについては上席者の承認が完了するまで送信を保留する機能、添付ファイルの自動パスワード設定機能など「多彩で強固な誤送信対策」機能がお客様のニーズを捉え、前連結会計年度に引き続き、大幅に売上が伸張いたしました。

ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」については、標的型攻撃による情報流出・組織内部関係者による意図的な漏洩などの事件・事故が相次ぎ、従来のファイルのパスワードロックという対応では不十分であるとの認識が広がり、ますます関心が高まりました。加えて「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)」の施行を平成27年10月に控え、マイナンバー法で要求される安全管理措置を満たすセキュリティ対策として「FinalCode」を検討されるお客様が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は803,529千円(前年同期比119.4%)となりました。また、利益面につきましても、米子子会社の本格稼働に伴う経費増や創立20周年記念イベント等の費用増があったものの、売上の増加を主要因として、営業利益は81,658千円(前年同期比227.1%)、経常利益は85,946千円(前年同期比239.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57,570千円(前年同期比359.2%)となりました。

各市場の業績は、次の通りです。

企業向け市場

主力製品である「i-FILTER」並びに「m-FILTER」の販売が順調に推移いたしました。「i-FILTER」につきましては、最新版である「i-FILTER」Ver. 9へのバージョンアップが順調に推移したことに加え、「i-FILTER ブラウザー&クラウド」(モバイル端末版)の販売がMDMを活用したチャネル政策や大型案件の獲得により成長いたしました。また、「m-FILTER」につきましては、昨今情報漏洩事故が相次ぎ、メールの誤送信対策への需要が高まる中、「多彩で強固な誤送信対策」というコンセプトがお客様のニーズを捉え、前連結会計年度に引き続き、売上が大幅に成長いたしました。「FinalCode」につきましては、前年同期において相対的に高価格であるエンタープライズ版の受注があったため、実績は前年同期並みに止まりましたが、標的型攻撃による情報漏洩対策やマイナンバー管理対策として関心が集まり、手軽に利用を開始することが可能なASPサービス(クラウド版)の販売が順調に進みました。

以上の結果、企業向け市場の売上高は、457,440千円(前年同期比120.3%)となりました。

公共向け市場

公共向け市場におきましては、主力の「i-FILTER」の販売が順調に推移しました。企業向け市場同様、最新版である「i-FILTER」Ver. 9へのバージョンアップが順調に推移したことに加え、定期的なシステム更改のタイミングが重なり売上が大幅に伸張いたしました。

以上の結果、公共向け市場の売上高は、256,401千円(前年同期比123.4%)となりました。

家庭向け市場

家庭向け市場においては、携帯電話事業者や提携先と連携し、スマートフォン向け「i-フィルター」のモバイル端末版の更なる拡販と協業拡大を推進いたしました。

スマートフォン向けフィルタリングソフト「i-フィルター」は、OEM提供による販売が順調に推移いたしました。ゲーム端末向けとしては、前連結会計年度に導入された任天堂株式会社の携帯型ゲーム機「Newニンテンドー3DS™」向けの売上等により堅調に推移いたしました。

以上の結果、家庭向け市場の売上高は、89,687千円（前年同期比105.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ215,791千円減少し、5,533,438千円となりました。

(負債)

負債は、未払費用、未払金が増加したものの、税金の納付等により、前連結会計年度末に比べ155,890千円減少し、1,295,419千円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当の支払い等により、前連結会計年度末に比べ59,900千円減少し、4,238,019千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね順調に推移しており、通期の連結業績見通しにつきましては、平成27年5月8日に公表いたしました業績見通しと変更はございません。

なお、業績見通しにつきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。今後重要な変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,673,533 | 2,507,088 |
| 売掛金 | 932,503 | 791,147 |
| 有価証券 | 300,872 | 300,882 |
| 製品 | 928 | 753 |
| 繰延税金資産 | 67,182 | 67,182 |
| その他 | 102,958 | 162,638 |
| 流動資産合計 | 4,077,978 | 3,829,692 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 145,117 | 144,832 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 810,653 | 768,705 |
| その他 | 125,021 | 180,902 |
| 無形固定資産合計 | 935,674 | 949,607 |
| 投資その他の資産 | 590,459 | 609,304 |
| 固定資産合計 | 1,671,251 | 1,703,745 |
| 資産合計 | 5,749,229 | 5,533,438 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,720 | 2,488 |
| 未払法人税等 | 266,542 | 58,706 |
| 賞与引当金 | 96,743 | 50,659 |
| 前受金 | 675,395 | 721,634 |
| 資産除去債務 | 261 | 261 |
| 繰延税金負債 | 2,263 | 2,263 |
| その他 | 363,797 | 416,100 |
| 流動負債合計 | 1,408,722 | 1,252,113 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 42,132 | 42,730 |
| その他 | 455 | 575 |
| 固定負債合計 | 42,587 | 43,305 |
| 負債合計 | 1,451,309 | 1,295,419 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 713,590 | 713,590 |
| 資本剰余金 | 735,847 | 738,425 |
| 利益剰余金 | 2,896,517 | 2,829,100 |
| 自己株式 | △143,017 | △140,047 |
| 株主資本合計 | 4,202,938 | 4,141,069 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 10,504 | 18,245 |
| その他の包括利益累計額合計 | 10,504 | 18,245 |
| 新株予約権 | 84,477 | 78,704 |
| 純資産合計 | 4,297,919 | 4,238,019 |
| 負債純資産合計 | 5,749,229 | 5,533,438 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 673,013 | 803,529 |
| 売上原価 | 228,482 | 211,388 |
| 売上総利益 | 444,531 | 592,141 |
| 販売費及び一般管理費 | 408,575 | 510,482 |
| 営業利益 | 35,955 | 81,658 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 624 | 229 |
| 受取手数料 | 72 | 44 |
| 為替差益 | - | 3,815 |
| 雑収入 | 124 | 199 |
| 営業外収益合計 | 821 | 4,287 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 889 | - |
| 営業外費用合計 | 889 | - |
| 経常利益 | 35,888 | 85,946 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 37 | 3,538 |
| 固定資産売却益 | - | 2,638 |
| 特別利益合計 | 37 | 6,177 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 35,925 | 92,123 |
| 法人税等 | 19,899 | 34,553 |
| 四半期純利益 | 16,026 | 57,570 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 16,026 | 57,570 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 16,026 | 57,570 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 76 | 7,741 |
| その他の包括利益合計 | 76 | 7,741 |
| 四半期包括利益 | 16,102 | 65,311 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 16,102 | 65,311 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。